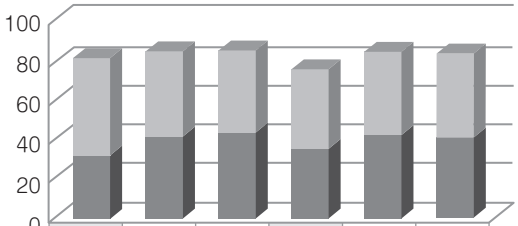
3　児童生徒質問紙調査結果

児童生徒質問紙の項目を抜粋して、全道・全国に対する本町の小・中学生の傾向をグラフで表しました。

自分にはよいところがあると思いますか。

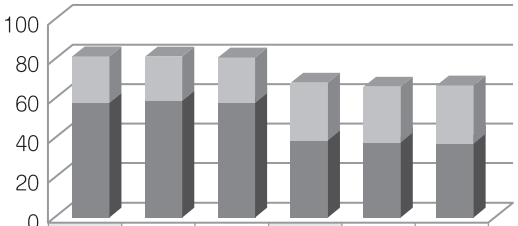
1．思う　2．どちらかといえば思う



	本町・小学校	北海道	全国	本町・中学校	北海道	全国
2	49.7	42.5	42.0	40.0	41.5	43.0
1	32.3	42.3	43.6	35.8	42.9	41.0

将来の夢や目標を持っていますか。

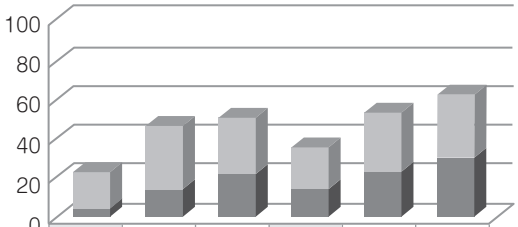
1．持っている　2．どちらかといえば持っている



	本町・小学校	北海道	全国	本町・中学校	北海道	全国
2	23.9	22.7	23.2	29.5	28.8	30.2
1	58.7	59.6	58.6	39.5	38.4	37.4

平日、どのくらいの時間、勉強をしますか。

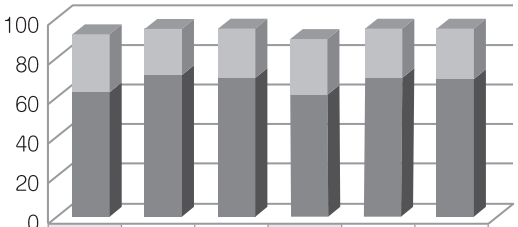
1．2時間以上　2．1時間以上2時間未満



	本町・小学校	北海道	全国	本町・中学校	北海道	全国
2	18.7	31.9	28.3	21.1	29.9	31.5
1	4.5	14.1	21.6	14.2	22.9	30.1

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

1．思う　2．どちらかといえば思う



	本町・小学校	北海道	全国	本町・中学校	北海道	全国
2	29.7	23.6	25.0	28.4	25.1	26.1
1	63.2	72.1	70.8	62.1	70.5	69.8

4　分析結果の考察

○教科に関する調査からは、小学校の学力定着には大きく成果が見られました。中学校では、国語の「情報の扱い方」「読むこと」に、数学では「図形」「関数」に課題がみられました。また、英語の「書くこと」「話すこと」に苦手な傾向が見られました。

○児童生徒質問紙の調査からは、全国平均と比較して、平日の家庭学習の時間が短いことが分りました。将来の夢や目標に関する質問では、全国と同等の結果でしたが、「自分にはよいところがあるか」「人の役に立つ人間になりたいか」という質問では、全国に比べやや低い傾向にあることがわかりました。

■教育委員会としては、学力向上のためには、何事にも主体的に取り組む姿勢が重要であると考えます。子どもたちの自己肯定感を高め、将来への夢や希望を持ち、人の役に立ちたいと思う児童生徒を育成するため、昨年度と同様に、以下の３点を各学校と連携し、学力向上を目指していきます。

①地域と関わり合う体験活動の充実
②個別最適な学びを保障する「子ども主体の授業づくり」
③成功体験の積み重ねによる学習意欲の向上



■子どもたちが家庭や地域に支えられながら、学びの中で「できる」「役立つ」という実感を積み重ねて自信をつけ、それが学習意欲につながっていくよう、家庭でもぜひ温かい励ましをお願いします。

令和８年度

中標津町教育委員会

全国学力・学習状況調査分析結果の考察

本年度調査は、4月23日に小学校第６学年の児童と中学校第３学年の生徒を対象に行われました。調査内容は「教科に関する調査」（小学校…国語・算数、中学校…国語・数学・英語）及び「児童生徒質問紙」となっています。以下、本町における調査結果について公表します。

1　教科に関する調査結果（平均正答率％）

小学校	国　語	算　数	中学校	国　語	数　学	英　語
本　町	**63.0**	**57.0**	**本　町**	**57.0**	**47.0**	**422**
全　道	60.0	54.0	全　道	63.0	55.0	490
全　国	60.9	56.4	全　国	63.9	57.0	499

※中学校英語はIRTスコア（生徒の学力を問題の難易度に依存せずに推定できる統計尺度のこと）で表記

2　教科全体の状況

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び本町の状況をレーダーチャートで示したものです。

